



- 第13回統一地方選挙——2
- 老後を守る国民年金——3
- 阪神大震災義援金——4
- ディサービス利用者をゆったり送迎——5
- お知らせ——6～7
- 公民館だより——8～9
- わだい——10



手づくりの
ひな祭り

藤田幼稚園では3月3日、ひな祭りの会を行いました。

園児は、ひな祭りの歌を歌ったり、クイズで楽しんだ後、手づくりのひな人形を囲んで満足そうでした。



あなたの一票 明るい未来

県議会議員一般選挙 4月9日(日)投票
町議会議員一般選挙 4月23日(日)投票

今年統一地方選挙の年、福島県議会議員一般選挙は3月31日に告示され4月9日に投票、国見町議会議員一般選挙は4月18日に告示され4月23日に投票となります。

選挙は、有権者が政治に参加する最も重要かつ基本的な手段であり、民主政治の基盤をなすものです。今回の統一地方選は、あなたの清き一票があすの福島県、あすの国見町を築くこととなります。

近年、全国的に投票率が低下する傾向となっておりませんが、あなたの意志を正確に政治に反映させるため、棄権することなく悔いのない一票を投じたいものです。



投票時間

福島県議会議員一般選挙、国見町議会議員一般選挙ともに、
投票時間は
午前7時～午後6時

不在者投票

投票当日、やむをえない理由で投票できない方は次の期間不在者投票ができます。

◎福島県議会議員一般選挙

3月31日～4月8日
◎国見町議会議員一般選挙
4月18日～4月22日

不在者投票ができる時間は、
ともに
午前8時30分～午後5時

(土曜日、日曜日でも不在者投票ができます)

印鑑と投票入場券を持参のうえ選挙管理委員会(役場総務課内)におこしください。

郵便による

不在者投票

選挙人名簿に登録されている方で、身体に重度の障害のある人(身体障害者手帳、あるいは戦傷病者手帳を交付されている方で、両下肢等の機能に著しい障害のある人、または、同程度であるとして福島県知事が証明した人)は、選挙の告示日以降、郵便による不在者投票ができます。

ただし、郵便による投票は、事前に選挙管理委員会が発行した証明書(有効期間四年、この期間を過ぎていると投票できません)が必要です。

住所移転された方の

投票方法

これから3月、4月と異動時期を迎えます。4月9日には、

福島県議会議員一般選挙が行われますが、住所を移転された方で転出先が福島県内の方は、次の方法により投票することができます。

1、移転先の市町村で平成6年12月30日までに転入届を出された方で、その後、再転出していない場合は、移転先の市町村で投票することとなります。

2、移転先の市町村で平成6年12月31日以降転入届を出された方は、以前住んでいた市町村で投票するのが原則ですが、少々手続きが面倒ですが、投票用紙を転入地に郵送してもらい、転入地で不在者投票をすることもできます。

いずれの場合も、新住所地の市町村の発行する証明書、または住民票(写し)などが必要となります。

●4月23日投票の国見町議会議員一般選挙については、平成7年1月17日以前から投票日まで引き続き居住していないと投票できません。

問い合わせ

●国見町選挙管理委員会(役場総務課内)

☎8521111 内線121

あなたの老後を守る 国民年金

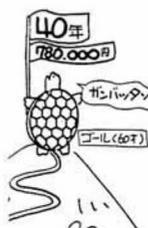
平成六年度の

国民年金保険料

納めましたか？

平成六年度（平成六年四月から平成七年三月）の国民年金保険料で納め忘れになっている期間はありませんか、確認しましょう。

国民年金は、二十歳から六十五歳までの四十年間保険料を納めて満額の老齢基礎年金が受けられるようになっていきます。途中納めていなかった期間があれば、年金額も減額されてしまいます。また、老齢基礎年金は二十五年の受給資格期間（納めていた期間などの老齢基礎年金を満たしている）に最低必要期間を満たしていないと受けられません。減額されたり、受けられなくなったりしないよう期日までに納めましょう。



● 年金は65歳から満額で780,000円。
● 納めなかった期間などがあれば、年金額は次の式で計算されます。

例 加入可能年数が40年で納付月数が300(25年)のとき

$$780,000 \times \frac{300}{40 \times 12} = 487,500 \text{円}$$

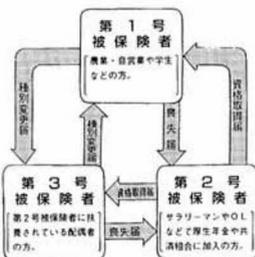
（加入可能年数は昭和16年4月2日以降に生まれた方は40年ですが、それ以前に生まれた方は昭和36年4月以降の60歳になるまでの年数になります。）

保険料納付月数 ÷ 保険料免除月数 × 加入可能年数 × 780,000円 × 12(月)

異動の時期です

国民年金の届出

忘れずに



就職・退職や卒業など異動の多い時期を迎えます。このような、人生の節目には国民年金の届出も忘れないうちにしましょう。

国民年金には、二十歳になるとすべての方が加入することになり、職業などのちがいに、第一号被保険者・第二号被保険者・第三号被保険者のいずれかになります。異動があれば種別も変わりますから届出が必要です。特に、第三号被保険者は本人に異動がなくても配偶者が異動するだけでも種別が変わりますから注意しましょう。届出は、国見町役場住民福祉課

課年金係窓口で忘れずにすませましょう。

保険料が

改定されます

平成七年度の国民年金保険料が、次のように改定されます。

種別	月額	年額
第一号被保険者	11,000円	132,000円
第二号被保険者	11,000円	132,000円
第三号被保険者	2,100円	25,200円

割引前納のおすすめ

国民年金保険料の納付には、前納制度（一年分をまとめて納付する）があり、前納しますとその保険料は年五・五％の割合で複利現価法によって割引計算されます。

なお、前納の取り扱い期間は、四月一日から四月二十八日までです。

- ◇ 定額前納額 一三七、〇一〇円
- ◇ 割引額 三、三九〇円
- ◇ 定額十付加前納額 一四一、六九〇円
- ◇ 割引額 三、五一〇円

保険料は期限までに

平成七年度保険料の納付期日は、次のとおりです。

納付月	納付期日	納付月	納付期日
前納	4月28日	10月	10月16日
4月	4月17日	11月	11月15日
5月	5月15日	12月	12月15日
6月	6月15日	1月	1月16日
7月	7月17日	2月	2月15日
8月	8月15日	3月	3月6日
9月	9月18日		

保険料の免除制度

経済的にどうしても保険料が納められないと認められるときは、保険料納付が免除される制度もあります。

世帯の所得が低く生活が苦しい、病気をした、災害や事故に遭ったなど、事情のある方は印鑑持参のうえ、四月中にご相談ください。

■ 問い合わせ

● 役場住民福祉課年金係

☎ 2111 内線135

阪神大震災

現在 2/3

義援金の合計は 三百二十一万円

「阪神大震災」に対する義援金が、二月に入っても町民の皆さんから役場や観月台文化センターに設けた窓口へ寄せられ、心温まる義援金の合計金額は、二月二十八日現在、三百二十一万八千四百二十一円になりました。

義援金をお寄せいただいた皆さん本当にありがとうございます。

義援金の月別内訳

1月中	2,293,535円
2月中	924,886円
合計	3,218,421円



藤田幼稚園児とPTAの皆さん

- 2月中に日赤見町分区分へ 義援金をお寄せいただいた方々 (順不同・敬称略)
- ▽大木戸婦人会(大木戸地区の皆さん) 15万二千三百円
 - ▽藤田病院医局会 10万七千円
 - ▽藤田幼稚園園児・PTA 18万二千七百円
 - ▽東北日本高圧電気㈱あつかし会 6万三千円
 - ▽鳥取町内会 5万四千七百円
 - ▽第一町内会 5万五千五百円
 - ▽第二町内会 5万円
 - ▽国見トライアングルクラブ 4万四千三百円
 - ▽本田吉助 3万円
 - ▽白金運輸㈱ 2万七千円
 - ▽渋谷節男 2万四千円
 - ▽くくみ女性教室 2万三千五百円
 - ▽国見町老人クラブ連合会婦人部 2万円
 - ▽佐藤 昭 2万円
 - ▽国見MVC 1万五千円
 - ▽佐藤イクヨ 1万五百円
 - ▽1万円をお寄せいただいた方々
 - ▽阿部武平
 - ▽村井庄徳
 - ▽小川恵見
 - ▽松崎 俊
 - ▽早田 精
 - ▽宮野はる子
 - ▽匿名 6千二百五十円
 - ▽5千円をお寄せいただいた方々
 - ▽樋口 弘
 - ▽佐藤一江
 - ▽内村 忠
 - ▽佐藤トシエ
 - ▽阿部恒夫
 - ▽武田和子
 - ▽鈴木 好
 - ▽匿名(一名)
 - ▽その他義援金をお寄せいただいた方々
 - ▽五十嵐栄雄
 - ▽岩淵 薫
 - ▽赤坂豊治
 - ▽渡辺茂男
 - ▽阿部和巳
 - ▽内池育男
 - ▽法井八夫
 - ▽柴田伊代
 - ▽鈴木 伝
 - ▽岡崎イシ
 - ▽遠藤重蔵
 - ▽佐藤シン
 - ▽伊藤ヨシ子
 - ▽佐久間タカ子
 - ▽佐藤イシ
 - ▽佐久間ハツイ
 - ▽原谷テル
 - ▽半沢ミサヲ
 - ▽安田節子
 - ▽本多ミツ
 - ▽吉田トモ子
 - ▽山田孝志
 - ▽唐見清彦
 - ▽佐藤タネ
 - ▽松浦義雄
 - ▽稲村テル
 - ▽須田泰山
 - ▽柳田ヒデ
 - ▽武田朋子
 - ▽等 ヨシ子

○この他に匿名等義援金をお寄せくださった方がいます。

老人医療

物価スライドにより 負担金が改定されます

将来にわたる一部負担の水準を維持して、老人と現役世代との間の負担の均衡が確保されるよう、平成七年度以降の一部負担金の額については、総務庁において作成する年平均の全国消費者物価指数的伸び率を指標として、一部負担金の額が改定されます。

平成七年度における改定は、平成五年平均の全国消費者物価指数が、平成四年に比して一・三%上昇したことに伴い、平成七年四月から外来一部負担金の



患者で込み合う公立藤田総合病院受付

	外来一部負担金	入院一部負担金
改定後 平成7年4月から 平成8年3月まで	1月 1,010円	1日 700円 ただし、低所得者については、1日 300円
改定前 平成5年4月から 平成7年3月まで	1月 1,000円	1日 700円 ただし、低所得者については、1日 300円

デイサービス利用者を ゆったり送迎

今までデイサービスの送迎につきましては、十人乗りワゴン車(二往復)で行っておいましたが、このたび、国・県からの補助を受け、二十六人乗り(運転手含む)バスを購入したことに、ゆったりと送迎できるようになりました。

バスは三月二日に役場に納車され、関係者は、運行の無事を願って鹿島神社において安全祈願しました。

バスのステップは、利用者考虑到して移動式になっており、乗り降りに大変便利です。

紺と白のツートンカラーが、デイサービスバスの目印です。



26人乗りのデイサービス車

国体の成功に向けて 対策本部を設置



国体の成功に向け協議した対策本部会議

第五十回国民体育大会「ふくしま国体」の成功とスポーツの振興を図り、三月二日、富永町長を本部長とする「国見町第五十回国民体育大会対策本部」が設置されました。

対策本部は本部長のほか、町長から委嘱された、町議会、体育協会等町内各界各層の代表者十七名で構成されています。

対策本部では、今後国体の成功に向け、炬火リレーや国体町民運動(花いっぱい運動)、デモンストレーションスポーツ大会参加事業などを積極的に推進するため、対策本部委員を中心とした部会を設け、活動していくこととなります。

五十人が

介護知識を学ぶ

万一家族が病気がけがのため介護が必要になったときに備えて、介護に関する基本的な知識と技術を身につけてもらおうと「くらしに活かす介護教室」が、観月台文化センター研修室において開催されました。

この介護教室は、社会福祉法人福島県社会福祉協議会福祉人材センターと町社会福祉協議会の共催により、二月二十八日、三月三日、七日の三回にわたって開かれ、五十名が受講されました。

今回は保原町の老人保健施設「桃花源」永田則子看護婦長の



実技も行われた介護教室

「老人のからだどころ」の講義と介護の実技、公立藤田総合病院鈴木邦夫副院長の「老人の健康管理」、同佐竹英子栄養士の「老人の食事」の講義、町住民福祉課高橋弘信課長の「わが町の在宅福祉サービス」、町社協松浦郁子主任ホームヘルパーの「家庭で介護するときの工夫」の講義と併せてビデオ鑑賞と盛沢山の内容で、受講者は熱心と盛沢を傾けメモする光景も見られ、介護知識を習得しながら健康の大切さも再認識されるなど、有意義な介護教室でした。

阿津賀志山ビッグツリー 写真コンテスト

町長賞 最優秀賞に佐藤孝一さん

トライアングルクラブ(佐藤司会長、主催による阿津賀志山ビッグツリー写真コンテストに町内外から十五点の作品が応募されたほか、日本写真家協会会員の鈴木重男さん(藤田)も、賛助出品しました。

富永武夫町長、佐藤司会長、鈴木重男さんの三人が、作品を審査した結果、町長賞と最優秀賞を佐藤孝一さん(小坂字前田)が受賞しました。

応募された作品は、二月十二日から二月二十六日まで、観月台文化センター多目的スペースに展示され、文化センターを訪れる皆さんを楽しませました。展示最終日の二十六日には、観月台文化センター会議室において表彰式が行われ、入賞者に賞状と記念品が手渡されました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 町長賞 佐藤孝一(小坂)
- 最優秀賞 佐藤孝一(小坂)
- 優秀賞 安(藤田)
- 入選 菊地 但(藤田)
- 入選 鈴木俊市(東大枝)
- 入選 酒井武光(東大枝)
- 佳作 哲(徳江)
- 佳作 佐藤 功(東大枝)
- 佐藤清光(東大枝)
- 室井賢司(東大枝)



富永町長から表彰を受ける佐藤さん

INFORMATION

・お知らせ

人口動態調査に

ご協力を

厚生省では毎年、人口動態統計調査を実施しています。

この調査は、皆さんからの出生、死亡、死産、婚姻、離婚の各届書をもとに、人口の動きを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、届書に職業も記入していただくことになっていきます。

また、死亡届には、併せて産業も記入していただきます。

調査結果は、今後の保健福祉の向上に役立たせるための統計資料として利用されます。

本年は、国勢調査の年であることから、届出をされる方にはご面倒をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

◇調査事項

出生：子どもが生まれたときの父および母の職業

死亡：死亡したときの本人の職業および産業

死産：死産があったときの父および母の職業

婚姻：同居を始める前の夫および妻の職業

離婚：別居する前の夫および妻の職業

◇調査期間

平成七年四月一日から八年三月三十一日までの一年間

◇職業・産業の分類

届出をする窓口に「出生届、死亡届、死産届、婚姻届、離婚届をされる方にお願い」が備えてありますので、参考のうえ、記入してください。また、分からない場合は、役場住民福祉課住民係窓口でお聞きください。

児童扶養手当

～月額等が
改正されます

児童扶養手当は、両親の離婚などで父親のいない児童を育てている母親や、母親に代わって児童を養育している方に支給されます。

◇手当月額が平成七年四月から

次表のように改正されます

手当額の支払いは、年三回（四月、八月、十二月）、四カ月分が指定の金融機関の口座に振り込まれます。

区分	全部支給される者	一部支給される者
児童 1 人	41,390円 (41,100円)	27,690円 (27,500円)
児童 2 人	46,390円 (46,100円)	32,690円 (32,500円)
児童 3 人以上	3 人目から児童 1 人増すごとに 3,000円ずつ加算	

() 内は、改正前の金額です。

◇支給年齢が延長になります

今まで、「十八歳に達した日」までが支給期間となっていたものが、平成七年四月一日より、「十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日」まで支給期間が延長されます。

※「十八歳に達した日」は誕生日の前日

■問い合わせ

県保健福祉部児童家庭課
☎ 217176

・役場住民福祉課福祉係
☎ 852111 内線 133

戸籍の窓口 (2月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
優花(ゆうか)	安藤 人司	山崎 館
めぐみ	高原 正幸	鳥取
俊大(としひろ)	鈴木 俊一	宮東
裕基(ゆうき)	神田 徹也	宮町南
広章(ひろあき)	佐藤 邦彦	石母田表
美雪(みゆき)	佐藤 智秋	錦町
はるか	岡崎 健	宮町北
満里奈(まりな)	石川 義則	第四
弘樹(ひろき)	酒井 勝弘	第十二
俊希(としき)	梅津 金利	滝山
結衣(ゆい)	佐久間 忍	第一
尚実(なおみ)	齋藤 清美	石母田表

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
堀善郎	保原町
近久麻美	石母田原
新村昌樹	内谷東
渡邊千佳子	二本松市

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
佐藤 マツノ	85	貝田
齋藤 洋二	47	町東
滝川 元助	79	町東
松浦 タカ	85	大木戸
菅野 フヂ子	75	内谷西
佐藤 富郎	70	錦町
八巻 トシイ	75	宮町北
佐久間 一衛	78	第十二

全国身体障害者

スポーツ大会

ボランティア募集

◇目的

十月二十八、二十九日に福島市で開催される第三十一回全国身体障害者スポーツ大会において、全国から来県する選手をあたたく迎えるため、広く県内からボランティアを募集し、大会を円滑に運営するとともに、障害者福祉の向上に資することを目的とします。

◇募集主体

・「うつくしまふくしま大会」ふれあい運動推進協議会

◇活動内容

・福島県社会福祉協議会
選手等の介助、ふれあい広場と後夜祭の運営協力

◇募集人員

約千五百人（定員になり次第締め切ります）

◇活動場所

福島県あづま総合運動公園他

◇応募資格

介助等の活動が出来る方で御家族や職場、学校等の理解を得られること。

◇募集期間

年齢性別の制限はありません

3月15日から4月28日まで

◇申し込み方法

町社会福祉協議会に備付けの参加申し込み用紙に記入のうえ提出してください。

◇その他

大会会期中会場周辺は交通規制されますので、自家用車の乗り入れ及び送迎はできません。福島駅西口から各競技会場まで県実行委員会がシャトルバス（直通無料バス）を運行しますのでご利用ください。

■申し込み・問い合わせ先

国見町社会福祉協議会

☎0241111 内線306

または

福島県社会福祉協議会「うつくしまふくしま大会」ボランティア募集係 ☎02411251

〒962-0111 内線306

固定資産税

納期変更のお知らせ

地方税法の一部改正が予定されていることから、平成七年度の固定資産課税台帳の縦覧期間を延期いたしました。

これに伴い、平成七年度の固定資産税の納期を五月十七日から五月三十一日までに延期いたします。

「男女で創る新時代

可能性は無限大

第47回婦人週間

わが国で女性が初めて参政権を行使したのは、昭和二十一年四月十日の衆議院議員総選挙のときです。

労働省ではこの日を記念して、昭和二十四年以来、四月十日から一週間を「婦人週間」と定め、女性の地位向上のための啓発活動を全国的に展開しています。

本年度の婦人週間は、「男女で創る新時代 可能性は無限大」をキャッチフレーズに、男女双方が個性を發揮しながら、協調して二十一世紀に向けて大きな可能性を有する新しい社会を築いていくために一層努力することを目標として実施されます。

文化講演会のお知らせ

日時 3月26日(日)午後2時～
会場 観月台文化センターホール
講師 漫画家 はらたいら さん
料金 無料

人口と世帯

3月1日現在(前月比)2月中の動き

人口
男 5,770人(+11) 転入 25人
女 6,173人(+6) 転出 12人
計11,943人(+17) 出生 12人
世帯数 3,103戸(+4) 死亡 8人

4月10日から高速道路の料金が変わります

普通車の主な通行料金は次のとおりです。

単位：円

I C	行先	郡山	福島	仙台	会津若松
		1,650	450	1,600	2,700
国見から	新	1,650	450	1,600	2,700
	旧	1,550	350	1,500	2,550

ハイウェイカード50,000円券が新たに発売されます。
(50,000円券で58,000円まで利用できます。)

心配ごと相談日

場所：役場2階相談室（東側入口からお入りください）
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談員

3月24日(金) 斎藤 光夫・山内 聡子
4月5日(水) 菅野 賢一郎・西 絹子
4月14日(金) 三瓶 茂・築 瀬 貞子

こよみ

3月 弥生(やよい)

21日(火) 春分の日
22日(水) 放送記念日
23日(木) 世界気象デー
25日(土) 電気記念日

4月 卯月(うづき)

1日(土) エイプリルフール
2日(日) 図書館記念日
7日(金) 世界保健デー
10日(月) 婦人週間

充実した一年間の学習

阿津賀志学級など閉講

阿津賀志学級

昨年四月二十八日に開講した阿津賀志学級の閉講式と交通安全大学修了式が二月二十二日約



阿津賀志学級閉講式

二百十名の熱心な学級生が出席して行われました。

式に先立ち、元県立福島高等学校校長、折笠常弘先生より「譲り兼ねの如く」（その2・不易を考える）という演題で祖父母の

役割についての講話がありました。はじめに、二宮尊徳翁の推挙、勤勞、分度、至誠についてのお話があり、う角力は土俵ぎわ、人生は老後ろそしてこれからも感性、つまり、価値あるものに気づく感覚、（視・聴・鼻・味・触・法と氣）の六境を更に磨くことが大切であることなど、大変意義深いお話をいただきました。

式は、阿津賀志学級の歌斉唱に始まり、はじめに交通安全大学長でもある富永武夫町長より修了式にあたり学長としての挨拶がありました。

続いて、平成六年度実施報告があった後、公民館長より皆勤賞十五名の代表佐藤貞助さん、精勤賞二十五名代表佐藤市郎さんにそれぞれ記念品が添えられて授与されました。

その後、交通安全大学長の富永武夫町長より、交通安全大学修了生百九十二名代表の佐藤イヨさんに交通安全大学修了証書と記念品が授与されました。

来賓の仲野町議会議長、志賀正達桑折警察署長からは、それぞれ今後とも健康と交通事故に注意し、この立派な文化センターで、さらなる生涯学習に励んでくださいとの励ましの言葉をいただきました。

終わりに、村上新吉学級委員長からの謝辞があり修了式は厳粛のうちに和やかに、しかも盛大に終了しました。

成人学級

成人学級の閉講式が二月二十四日、親月台文化センター大研修室で二十名が出席して行われました。

今年度は十二回にわたり学習しましたが、出席率もよく、この閉講式で皆勤賞二名、精勤賞六名に賞状と記念品が贈られました。

式終了後、今年度最後の学習として、佐藤利雄町教育委員長より生涯学習についての講話をいただき、実例を挙げながらのお話は大変わかりやすく、出席した皆さんは熱心に聞き入っていました。



今年度最後の学習（成人学級）

くみに女性教室

昨年五月に開講したくみに女性教室は、十七回の学習と陶芸をはじめとする十二回のグループ活動を終え、二月十五日に閉講式を行いました。

最後の学習は内池和子さんを講師に、和紙を材料にしておひなさまを作りました。出席した三十三名の学級生は手作りのおひなさまに満足した様子でした。

閉講式では、皆勤賞一名、精勤賞六名の方に賞状と記念品が贈られました。次年度も学習内容を十分考慮し、皆さんの要望を活かした学習計画を立て実施したいと思っております。



くみに女性教室閉講式



少年仲間づくり教室

昨年六月十二日に開講した少年仲間づくり教室の閉講式は二月十一日、二十名が出席して開かれました。

式では斎藤久教育長、鈴木捷治公民館長のあいさつ、藤田小六年生の安孫子望さんの感謝のこぼり、皆勤賞の富田景子さんほか十名、精勤賞の斎藤司君ほか七名が表彰されました。続いて、藤田小学校長畠腹順一先生から仲間づくり教室での体験のすばらしさや、激励のこぼりをいただきました。

式のあと、最後の学習として、空き缶を利用した弓矢作りをして楽しく過ごしました。

今年度は九回にわたり活動しましたが、出席した皆さんは八月に実施したキャンプの思い出などを楽しく話合っていました。



感謝のこぼる安孫子望さん

感謝のこぼり

少年仲間づくり教室生代表

安孫子 望

とうとう、少年仲間づくり教室の終わりの日がやってまいりました。

今までのこと一つ一つをふりかえてみると、六月にはじめてから今日まで、学校では体験できないことを、たくさん勉強することができました。

南蔵王での、泊りがけの野外活動では、家の中とは違った炊飯のし方を学び、おもしろかったし、自分達で作ったものを食べる楽しさも味わうことができ、雨にもあいましたが平気でした。つまりと、いつも先生が助けて下さり、安心して活動できました。

九月には、あつかし山近くの自然観察会をしました。わかなな植物の名も、えや地層の話なども聞くことができ、楽しい登山でした。山頂からの木の葉飛ばしは、はじめての体験で、とても愉快で最高でした。あの時の青い空や、雲の形までなつかしく思い出されます。この少年仲間づくりは、一つ終わることに自分がぐんと大きくなったような気がするから、

ふしぎです。

私が、この仲間作りに入って、なんといっても、一番楽しかったのは、自分達で、ソリをつかって、ソリですべったことでした。

なぜこれが一番楽しかった思い出かと言うと、自分達で竹の長さをはかり、それをノコギリで切る作業から、クギを打って作業まで、うけんめいやってソリを作りました。とてもたいへんな作業だったと思います。クギをななめに打ったりするのが本当はたいへんでした。でも、みんな仲良くできたので良かったです。当日は小坂峠にたくさん雪が積もり、みんなで雪をかためてから、ソリすべりを始めました。前でひもをひっぱっていた人が、ひもを放したとたん、雪の中にソリごと顔から雪の中に入っていったり、とても楽しかった一日でした。

六月から今日までお話ししてくださった先生方、よい思い出をたくさん、ありがとございます。よい友達もできました。私の心の中に、次々と、すてきな宝物がふえていったような、そんな感じがします。本当にありが

とうございました。

和やかに

交流を深める

若者たちに交流の場を——と公民館が主催した「ふれあいスキーツアー」は快晴に恵まれた二月十九日、宮城蔵王えぼしスキー場で開かれました。

このツアーには独身の男女十五人が参加。初めて会う人が多かったにもかかわらず、バスの中では自己紹介をするなど、たちまち和やかに打ち解け合っていました。

スキー場に到着後は、午前中は町体育協会山岳スキークラブ員を講師に迎え、基本を中心とする技術レッスン。午後には気の合った同士が夕方まで目いっぱい滑走を楽しみ、存分にスキーを満喫していました。



交流を深めたふれあいスキーツアー

たちまち上達

スキー教室

公民館主催のスキー教室は二月十一日、福島市黒岩の「福島アイスアリーナ」で開かれました。

冬の運動不足解消とスキー技術の身に付けようと開かれたもので、小学生を中心に三十三人が参加して技術のマスターに励みました。

会場に到着した参加者は、早速、スケートシューズに履き替えてリンクに飛び出し、アリーナのインストラクターから約二時間にわたる、丁寧に技術面の指導を受けました。

はじめは立つのがやっとだった子供たちも、終盤近くには自由に滑れるほど上達し、一緒に参加した友達と仲良く氷上の楽しい世界を満喫していました。



滑走を楽しむ参加者の皆さん

北風に乗せて

〓 風あげ大会 〓

二月十一日、町民グラウンドにおいて国見町青少年育成町民会議大木戸地区推進協議会（村上金正会長）主催による風上げ大会が開催されました。

風あげ大会は、学校週五日制に対応して開催されているもの



三世代のふれあいを深めた風あげ大会

で今回が三回目。青少年の健全育成を図るとともに、日本の伝統文化の「風」を作ったり、飛ばしたりすることで三世代のふれあいを深めることが目的です。

和風や洋風、連風などを持ち寄った地区の幼児からお年寄りまでの七十名が運動場いっぱいに広がり、北風に乗せて風をあげていました。

昔の遊びを体験

〓 徳江北部三世交代歓会 〓

徳江北部長寿会（佐藤茂雄会長）主催による三世交代歓会が、二月十日、徳江北部公民館において開催され、地区の子供たちなど五十名が参加しました。

交歓会は、竹馬、輪なげ、太鼓、なわとびなどの昔の遊びを



竹馬の乗り方を教えてもらう子供たち

通じて、三世代のふれあいを深めようと開催されたもので、参加した子供たちは、お年寄りが作った竹馬の乗り方を教えてもらうなど上機嫌でした。

また、お話おぼえさんの横山幸子さんのユーモアあふれる昔話を楽しんだ後は、和やかに全員で昼食を食べ、楽しい一日を過ごしました。

がんの正しい

知識を学ぶ

町、健康づくり推進協議会などが主催する「健康講演会」が二月十日、観月台文化センター大研修室で開かれ、約九十人の皆さんががんの予防について学びました。

講師の公立藤田総合病院長の



がんの正しい知識を学んだ「健康講演会」

朽木涉先生が、「がんの予防と早期発見について」と題して講演。食生活の欧米化による大腸がんの増加や、早期発見の重要性について説明したあと、パラクスのとれた食事をする、適度な運動をする—などと話し、出席した皆さんは、身近な健康の問題だけに、熱心に聴き聞いていました。

中山さんが

休憩施設を寄贈

山崎字耕谷地内（藤田幼稚園北側）のゲートボール場に、このほど休憩施設が設置され、ゲートボール愛好者に喜ばれています。

この施設は、プレハブ造り（四坪）で、中山隆さん（光明寺字



休憩施設が設置されたゲートボール場

鹿野山）が、ゲートボール場を覆うシートとともに町社会福祉協議会に寄贈したものです。

三月二日、役場町長室において、富永武夫町社会福祉協議会長から中山さんに感謝状が贈られました。

この施設は、藤田・山崎ゲートボール愛好会に貸与され有効に活用されます。

発行・編集 国見町総務課

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二.2の1
☎969-17

☎0245 (85) 2111 F A X 0245 (85) 2181

間もなく新入学シーズンです。

新入学（園）児をおもちの家庭の皆さん、子供を交通事故から守るには、家庭での保護と教育が大切です。

入学準備として交通安全教育も忘れてないでお願いします。（S）